



NPO法人とくしまコウノトリ基金
活動レポート

ゆりがご



2023
Vol. 4





コウノトリの現状



NPO法人とくしまコウノトリ基金
理事長 熊谷 幸三

「ゆりかごVol.4」の発刊にあたって

2019年に設立した「とくしまコウノトリ基金」ですが、早いもので第4期目の事業年度が終了いたしました。この間、新型コロナで厳しい状況のなか会員皆様方の温かなご理解とご支援のもと、様々な活動が展開できましたことを心からお礼申し上げます。

4期目ではビオトープの整備、ボランティアチームの活動、地元小学校での環境学習プログラムの提供、会員企業様とのコラボによる商品開発やエコツアーの試行等、これまでの取組みをさらにブラッシュアップするとともに、これらの活動拠点である「大谷ベース」を多くの方に参加・利用して頂くため充実強化いたしました。また、昨年からはビオトープ整備を始めた島田島では地域の皆さんと連携し新たな取り組みが進んでいます。

この小冊子では、これらの活動を紹介しています。誌面の関係で活動の全てをお伝えすることは出来ませんが、当基金へのご理解を深めて頂けると幸いです。7月から始まる第5期でも新しい活動に意欲的にチャレンジして参りますので、皆様方のなご支援ご協力をお願いします。

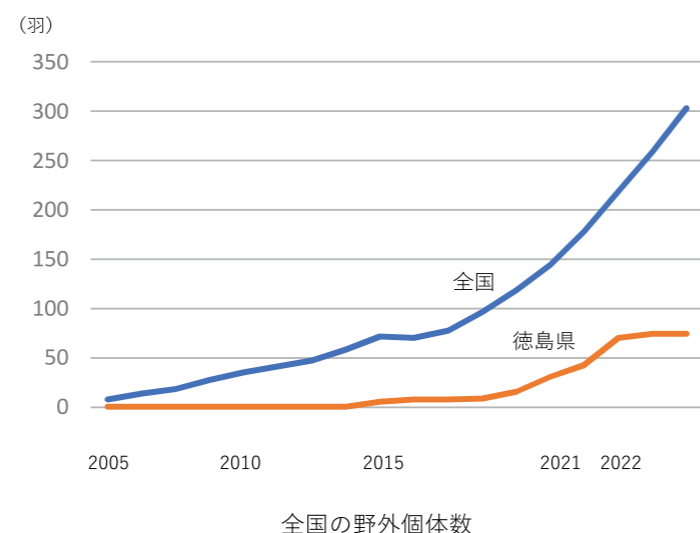
会員数 (2023年6月)

賛助会員 110 (団体85 個人25)
協力会員 59 正会員 11 計 180

野外個体数が増加

1971年に野生絶滅し、2005年に放鳥が始まってから野外個体は徐々に増加し、2022年末には全国で300羽に達しました。徳島県内での確認数も増えていますが、2022年の年間確認数は前年と同数の74羽で、2013年以降に徳島県へ飛来したことの多いコウノトリは約190個体になりました。

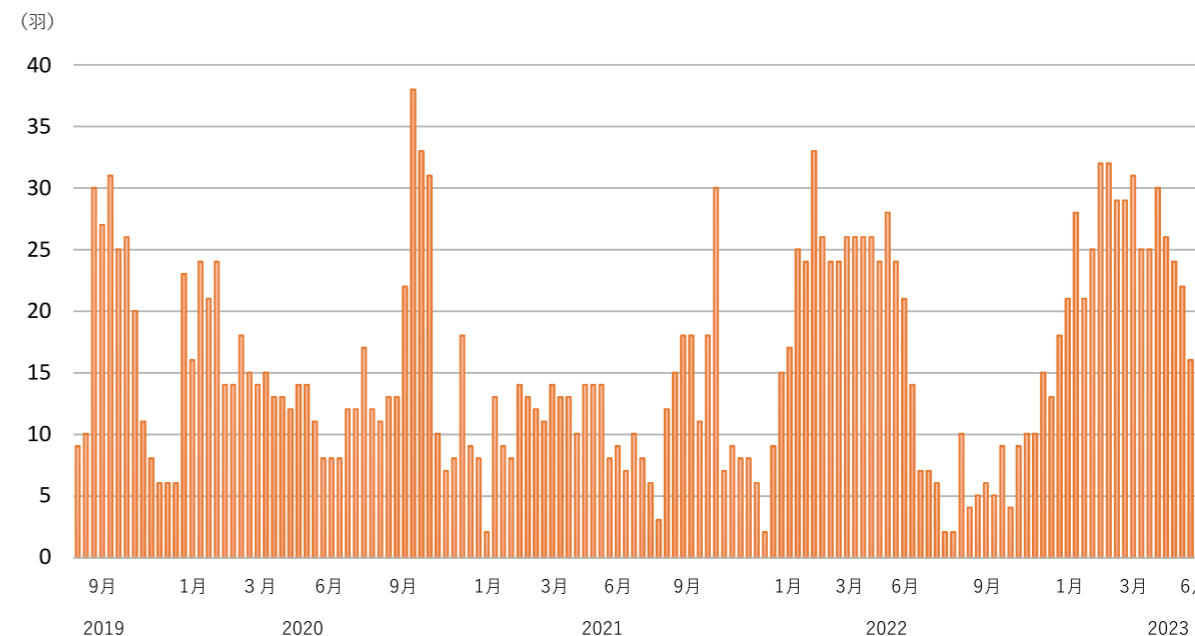
2023年は、関東、北陸、中国、九州などで繁殖するペアが増え、野外個体数は400羽を超えると予想されています。コウノトリの野生復帰は着実に進んでいると言えます。



※全国の個体数は兵庫県立コウノトリの郷公園のデータを使用

徳島県内の確認数

鳴門で繁殖している「鳴門板東ペア」は完全に定着していますが、他のほとんどが2歳以下の若い個体です。これらフローターと呼ばれる繁殖に参加しない個体は、本州と四国を頻りに行き来しています。フローターの動きによって、県内の個体数は年間を通して大きく変動しています。



徳島県内に滞在するコウノトリの数の季節変動 (2019-2023)

徳島県内での繁殖

鳴門市では、J0044オス(ゆうひ)とJ0480メス(あさひ)の「鳴門板東ペア」が2017年から7年連続して野外繁殖に成功しています。

2023年は5月に3羽が巣立ち、鳴門市で巣立ったコウノトリは累計で20羽に達しました。

2017年に巣立ったJ0141オス(なる)は、2023年、九州で初めて繁殖に成功しました。

しかし、県内外において送電線への衝突事故などにより、これまでに6羽が死亡してしまい、1羽が長期消息不明です。

「鳴門板東ペア」は、順調に繁殖を続けているものの、県内で繁殖するペアはこの1ペアのみです。徳島県をより安定的な繁殖地にするためには、複数の繁殖ペアの形成が望まれます。

鳴門生まれのコウノトリの近況 (2023年6月下旬時点)

生まれ年	個体番号	愛称	居場所等
2017	J0140	♂ 蓮(れん)	2020年4月香川県で事故死
	J0141	♂ なる	佐賀県杵島郡(2023年6月下旬)
	J0142	♀ あさ	2018年2月鳴門市で事故死
2018	J0181	♀ 歌(うた)	2020年10月栃木県で事故死
	J0182	♀ 百(もも)	不明(2018年10月下旬に三重県)
2019	J0223	♀ 藍(あい)	鳴門市(2023年5月上旬)
	J0224	♂ 令(れい)	2020年10月鳴門市で事故死
	J0225	♀ 和(かず)	2020年10月京都府で事故死
2020	J0278	♂ 渦(うず)	京都府京丹後市(2023年6月下旬)
	J0279	♀ めい	福井県南条郡(2023年6月下旬)
	J0280	♂ 海(かい)	千葉県香取市(2023年5月中旬)
2021	J0346	♀ えがお	千葉県館林市(2023年6月下旬)
	J0347	♀ にじ	2022年11月香川県丸亀市で病死
	J0348	♀ 花(はな)	兵庫県加古川市(2022年10月下旬)
2022	J0418	♂ 爽(そう)	京都府京丹後市(2023年6月下旬)
	J0419	♂ 大(だい)	福井県三方上中郡(2023年6月中旬)
	J0420	♀ なみ	福井県敦賀市(2023年6月中旬)
2023	J0509	♀ はる	鳴門市(2023年6月下旬)
	J0510	♀ 月(つき)	鳴門市(2023年6月下旬)
	J0511	♂ 碧(あお)	鳴門市(2023年6月下旬)



● 足環装着



2023年4月21日、足環装着プロジェクトチームが、孵化後40日の3羽のひなに足環を装着。2017年以来7回連続の足環装着となりました。コウノトリ基金は、装着のための調査、情報の収集分析、機材調達、技術研修などを担当しています。これまでで最も早い40日齢（7年平均42日齢）のためか、ひなの平均体重はこれまでで2番目に軽かったものの、血液検査結果は問題なしでした。

ひなの個別データ					
個体番号	性別	足環		体重(g) 4月21日計測	愛称
		右	左		
J0509	メス	■	■	3,220	はる
J0510	メス	■	■	2,705	月（つき）
J0511	オス	■	■	4,109	碧（あお）

今年は堀江北小学校の児童が雛の愛称をつけてくれました

● 巣立ち

2023年5月24日朝にJ0509メス（はる）が、25日朝にJ0511オス（碧；あお）が、27日朝にJ0510メス（月；つき）が巣立ちました。



J0509（はる）の巣立ちの瞬間 2023年5月24日

● なるが繁殖

鳴門板東ペアのあさひとゆうひが2017年に初めて巣立たせたひな3羽のうち、J0141オス（なる）が、昨年に続いて佐賀県杵島郡白石町で営巣。昨年は子育てに失敗しましたが、今年は2羽のひなが巣立ち、九州では初めて繁殖に成功しました。



● にじが死亡

2021年に鳴門で生まれたJ0347メス（にじ）が、2022年11月15日に香川県丸亀市で死亡しているのが見つかり、検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が検出されました。国内初のコウノトリの感染確認になりました。



● 負傷個体を放鳥

胸部の負傷が原因と思われる飛べないJ0319（2020年兵庫県豊岡生まれのメス）を、2022年6月に捕獲し、とくしま動物園で検査と治療を行った結果、飛べるまでに回復したため7月に放鳥しました。2023年6月下旬には、京都府与謝郡で元気に過ごす姿が確認されています。



● 観察カメラの映像モニター設置とはく製展示

巣の近くは撮影・観察の自粛をお願いするエリアが設定されており、巣にいる親鳥やひなはよく見えません。このため、調査のために巣を撮影している観察カメラの映像をリアルタイムで見ることができるモニターを、2023年3月に板東南ふれあいセンター（鳴門市大麻町川崎394）に設置しました。モニターの映像は、巣作りから巣立ちの頃（おおむね2月～6月）まで見ることができます。また、地元からご要望いただき、2023年6月からモニター横にはく製を展示しています。



映像モニター 2023年3月

※このプロジェクトは、サントリー世界愛鳥基金の支援を受けています

● コープ自然派とのお米づくり

農薬をできるだけ使わない方法でお米を育てている地元農家と連携し、コープ自然派の会員の親子と一緒に、今年からビオトープの一角でお米を育てています。田んぼでは、田植え定規を使った手植えや、生き物探しをしました。田植え後も草抜きをして、農薬を使わないお米の育て方を体験しながら学ぶ機会になっています。



2023年5月 田植えの様子

● コウノトリ普及活動

コウノトリのことや、当基金の活動を知っていただくために、パネルやさわれるはく製の展示などを行いました。



さわれるはく製とコウノトリ関連商品の展示やお米の試験販売 2022年11月 本家松浦酒造場



巣作りワークショップ ショップ 2023年2月 オーガニックエコフェスタ（あいさい広場）

● 堀江北小学校での環境学習

一昨年、昨年に続いて、鳴門市堀江北小学校の4年生にコウノトリやその生息域の環境を学ぶための授業を行っています。「コウノトリ」「トンボ」「淡水魚」「カエル」などをテーマに、教室での座学と、ビオトープでの観察を実施しています。2022年11月には、鳴門で生まれたJ0181メス（歌；うた）が営巣した栃木県小山市にある下生井小学校とオンライン交流授業を実施し、コウノトリや地域の自然について学習したことを発表しました。



2022年11月 オンライン交流授業の様子



ビオトープの整備を進めています

● 大谷地区（鳴門市大麻町）

2022年の春に産卵床で採取した魚の卵をビオトープへ導入した効果が現れ、たくさんのフナを確認。そのフナを食べにコウノトリが飛来するようになり、特に2022年11月下旬から2023年1月までは、ほぼ毎日、多い日は10羽もが通って来ました。また、ビオトープ内ではドジョウもたくさん増えました。



ビオトープで採餌するコウノトリとダイサギ 2022年12月



ビオトープに生息するフナ 2022年11月



フナを捕まえた「あさひ」 2022年12月



ビオトープでの環境学習 2023年5月



ビオトープに生息するドジョウ 2023年6月

※このビオトープ整備は、一般財団法人日垂ふるさと振興財団の助成を受けています

● 牛屋島地区（鳴門市大麻町）

昨年作った魚道では魚が登らなかったのが、今年は角度を緩やかにしたり、途中で水が溜まる場所を作るなどの改良をしました。深みに入れた産卵床から孵化した稚魚を、たくさん確認することができました。また、取組を知っていただくために、看板を設置しました。



改良した魚道 2023年2月



設置した看板 2023年3月

※このビオトープ整備は、サントリー世界愛鳥基金の助成を受けています

● 大島田地区（鳴門市瀬戸町島田島）

地元有志の皆さんが結成した「島田島にコウノトリを呼ぶ会」が進める耕作放棄地をビオトープとして再生する取組に、とくしまコウノトリ基金も協力させていただいています。40年以上耕作放棄されていたため、枯草の分解が進んでいないスポンジのような層が分厚く堆積し、水が溜まって水生動物が生息できる空間がなかったため、重機でスポンジ層を除去しました。その結果、一定の水深を確保できるようになり、水生動物がすめる空間ができました。



整備中のビオトープに飛来したコウノトリ 2023年4月



手前が除去したスポンジ層 2023年4月



除去作業 2023年4月

※このビオトープ整備は、米国コカ・コーラ財団の助成を受けています

🌱 ビオトープ米でお酒を造るプロジェクト

お米生産者・本家松浦酒造場・とくしまコウノトリ基金が連携し、ビオトープ米で日本酒をつくるプロジェクトが、今年も進んでいます。4年目の今年は、5月27日と6月15日に田植えを行いました。今年は、お米の品種を栽培しやすいアキサカリに変更しました。コウノトリの子育てをテーマに作成したボトルラベルは、「求愛」「子育て」を経て、今年「巣立ち」を迎えました。鳴門鯛オンラインショップでは、これまでのラベルを復刻した3本セットの販売もしています。また、2022年収穫のお米の一部を「コウノトリのお米 朝と夕」として、こうのとりの農産合同会社が産直市等で試験販売を行い、お酒を飲まない方にも取組を知っていただく機会づくりができました。

※このプロジェクトは、一般財団法人日垂ふるさと振興財団の支援を受けています



3年目の収穫
2022年10月



4年目の田植え
2023年5月



ラベル3種



PR動画



コウノトリのお米 朝と夕

🌱 会員企業・団体との観察会の開催

アオアヲナルトリゾート、生活協同組合コープ自然派しこくとの共催で、ビオトープ整備を進めている島田島をフィールドに、トンボ観察会を計3回開催しました。トンボの生態や捕まえ方を説明した後、参加者全員でトンボを捕まえに出かけました。会場に戻った後、それぞれが捕まえたトンボの種類を図鑑を使って調べたり、トンボを餌にしているコウノトリについても紹介しました。

基金スタッフが講師を担当し、コウノトリやトンボ等の観察会や、コウノトリや基金の活動に関する講演等のご依頼をお受けしています。お気軽にご相談ください。



🌱 ガイドブック なんと羽ばたくわたりどり販売開始

株式会社休日ハックと連携し、鳴門市を巡りながら楽しむ新体験のガイドブックを制作しました。ガイドブックを片手に、ストーリーに沿って街を巡りながら、鳴門の街の魅力やコウノトリについて知っていただける内容となっています。ガイドブックの売上の一部が、当基金に寄付されます。道の駅くるくるなんと、本家松浦酒造ナルトタイの店の他、スイミーオンラインショップや鳴門市内ホテルでも販売しています。詳しくは、下記サイトをご覧ください。



紹介ページ



とくしまコウノトリ基金の活動を支えるボランティアチーム「クレイドル(英語で“ゆりかご”の意味)」は、毎月第1、3土曜日を定例活動日として、ビオトープの整備をはじめ色々な活動をしていますので、ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

メンバー
募集中!

🌱 魚道と深みづくり

整備したビオトープと川や水路をつなぐ魚道4か所を、魚などの生き物が行き来しやすいように勾配を緩くする等、改良しました。また、魚道が設置できていなかったビオトープ1か所に、新たに魚道を設けました。

ビオトープの水が少なくなった際に生き物が退避できるように、江(え)と呼ばれる深みを作りました。



🌱 魚の産卵場所づくり

フナやコイの産卵場所づくりを行いました。塩ビパイプや竹で作った枠にシュロの繊維や木や竹の枝を取り付け、産卵床として水路に浮かべました。すべすべしたものに産卵する種類もいるため、切ったばかりの竹や塩ビパイプなどを浮かべたところ、モツゴと思われる魚が産卵しました。

これらの卵が着いた産卵床を移設した深み「江(え)」では、稚魚や成長した幼魚が確認できました。



🌱 ビオトープでお米づくり

徳島大学と四国大学の学生のみなさんと一緒に2022年6月に手植え、手で草取りをして育てた農薬不使用の稲を、10月に手刈りで収穫しました。はで干して乾燥させた後、脱穀・粃摺りをして、12月には収穫祭をし、学生が試作した米料理をみんなで試食しました。

今年も、2023年5月27日にビオトープ3枚で、徳島大学の学生のみなさんと田植えを行いました。農薬は不使用。肥料は「はばたき866」を使う田と無肥料の田で、収穫量に違いがでるか実験をしています。今年も田植え機や、四国ではほとんど使われていない水田除草機を導入し、栽培を行なっています。





🌸 売上からご寄付をいただいている商品

私たちの活動に賛同していただいた企業、団体が販売しているコウノトリとの共生を目指す商品をご紹介します。これらの商品は、売上の一部をコウノトリ基金の活動にご寄付いただいております。



NEW 花れんこん

鳴門ピクルス 花れんこん

鳴門のれんこんを使ったピクルス。歯ごたえのある蓮の水の中茎、栗のような食感の実、れんこんをまるごとお楽しみいただけます。

* 販売場所 徳島阿波おどり空港、道の駅くるくるなると、いせや農場、スイミーオンラインショップ他



コウノトリの酒 朝と夕

本家松浦酒造場

鳴門板東ペア“あさひ”と“ゆうひ”が子育てする巣の近くで、特別栽培（農薬・化学肥料を慣行の5割減）で育てたお米でつくられた日本酒。

* 販売場所 本家松浦酒造ナルトタイの店、県内スーパー他



コウノトリれんこん

JA徳島北特別栽培部会
こうのとりの農産合同会社

コウノトリの生息、繁殖を支えてくれているレンコンを、特別栽培（農薬・化学肥料を慣行の5割減）で生産。鳴門市の「コウノトリおもてなし」認証商品。

* 販売場所 JA徳島北、農産市二十世紀

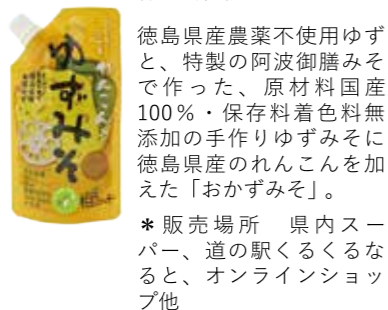


古代蓮茶

株式会社Braveはな薬局

島田島活性化プロジェクトが無農薬で育てた古代蓮の葉のお茶。

* 販売場所 Braveはな薬局、オンラインショップ



れんこん入りゆずみそ

株式会社柚子

徳島県産農薬不使用ゆずと、特製の阿波御膳みそで作った、原材料国産100%・保存料着色料無添加の手作りゆずみそに徳島県産のれんこんを加えた「おかずみそ」。

* 販売場所 県内スーパー、道の駅くるくるなると、オンラインショップ他



れんこんカレー 薬膳粥

NPO法人れんこん研究会

「コウノトリれんこん」がたくさん入った、健康と美味しさにこだわったカレーと薬膳粥。

* 販売場所 農産物直売所えがお、道の駅第九の里、なると物産館

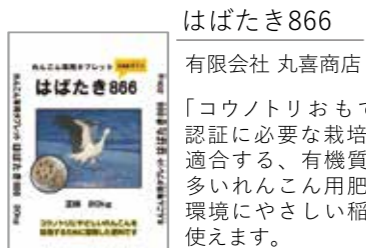


トートバッグ

鳴門西ライオンズクラブ

コウノトリの巣がある大麻町をPRするために制作。

* 販売場所 鳴門市ドイツ館、道の駅第九の里、なると物産館

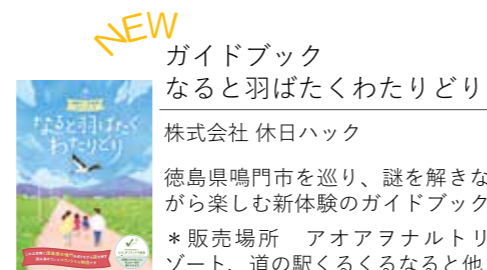


はばたき866

丸喜商店

「コウノトリおもてなし」認証に必要な栽培方法に適合する、有機質成分の多いれんこん用肥料。環境にやさしい稲作にも使えます。

* 販売場所 JA徳島北



NEW ガイドブック なると羽ばたくわたりどり

株式会社 休日ハック

徳島県鳴門市を巡り、謎を解きながら楽しむ新体験のガイドブック。

* 販売場所 アオアヲナルトリゾート、道の駅くるくるなると他



コウノトリを育む 大谷川カヌーツアー

NPO法人 川塾

コウノトリの生息域を大きく蛇行して流れる大谷川を、地域の歴史や生息する生き物を紹介しながらカヌーでゆっくりくぐります。

* 販売場所 川塾ホームページ



れんこん畑をかけめぐる ポタリングツアー

小さな地域商社 スイミー

ブロンブトンという折りたたみ自転車を使い、コウノトリが選んだ鳴門の自然の中を地域の魅力ある商品やとくしまコウノトリ基金の活動を紹介します。

* 販売場所 スイミーオンラインショップ



NEW SDGsコウノトリ応援 宿泊プラン 謎解き×体験型ガイドブック付 SDGsコウノトリ応援 宿泊プラン

アオアヲナルトリゾート

鳴門公園に立地しているホテル・アオアヲナルトリゾートの利用者とホテルから、当基金に寄付していただく宿泊プラン。「なると羽ばたくわたりどり」が付いた宿泊プランも。

* 販売場所 アオアヲナルトリゾートホームページ

企業・団体 *左から縦に入会順、敬称略

徳島北農業協同組合	日本野鳥の会徳島支部	光設計株式会社
大津松茂農業協同組合	社会福祉法人白寿会	富田製薬株式会社
徳島県危機管理環境部	ニタコンサルタント株式会社	徳島県建設業協会鳴門支部
大久保産業株式会社	喜多機械産業株式会社	株式会社テレビ鳴門
新風とくしま	株式会社姫野組	一般社団法人徳島経済同友会
株式会社阿波銀行	株式会社ネオビエント	株式会社イルローザ
公益財団法人とくしま産業振興機構	公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク	井上建設株式会社
一般社団法人徳島新聞社	四国高速運輸株式会社	株式会社中岸商店
四国放送株式会社	四国電力株式会社徳島支店	徳島県森林組合連合会
一般財団法人徳島県観光協会	四国電力送配電株式会社徳島支店	株式会社徳松
徳島商工会議所	斎徳株式会社	ケーブルテレビ徳島株式会社
JA徳島中央会	株式会社エコー建設コンサルタント	国立大学法人鳴門教育大学
JA全農とくしま	株式会社ヨシミ	東とくしま農業協同組合
JAバンク徳島信連	有限会社丸喜商店	徳島製材団地協同組合
JA共済連徳島	有限会社八木土建	株式会社三木組
JA徳島厚生連	公益社団法人徳島県物産協会	有限会社吉本商店
四国建設コンサルタント株式会社	徳農種苗株式会社	四国化工機株式会社
一般社団法人徳島県建設業協会	医療法人倚山会田岡病院	NPO法人生活楽校 学びの社
徳島県土地改良事業団体連合会	総合ビル・メンテム株式会社	株式会社本家松浦酒造場
株式会社松本コンサルタント	徳島県医師会	株式会社Brave はな薬局
徳島市農業協同組合	株式会社アルボレックス	有限会社ジャンプ工業
国立大学法人徳島大学	東海運株式会社	株式会社コープ有機
阿波観光ホテル	株式会社ダイリFPC	生活協同組合コープ自然派しこく
菊池産業株式会社	徳島県漁業協同組合連合会	株式会社柚子りっ子
株式会社フジタ建設コンサルタント	学校法人四国大学	花れんこん
株式会社徳島大正銀行	森田緑化株式会社	アオアヲナルトリゾート
社会医療法人川島会	徳島トヨペット株式会社	島田島活性化プロジェクト
コウノトリ定着推進連絡協議会	板野郡農業協同組合	
徳島信用金庫	赤松土建株式会社	

個人(公開に同意いただいた方のみ掲載しています 敬称略)

安井 俊之	仲田 優晴	熊谷 美智子	西村 宏昭	小林 正美	広瀬 和範
小笠原 章	北岡 和義	藤原 学	西村 耕世	吉田 一郎	井沢 幸雄
八尾 和樹	梶川 寿幸	阿部 徳男	西村 秀美	小澤 俊樹	萬宮 千鶴子

🌸 ご寄付有難うございました

8ページでご紹介している商品売上からのご寄付以外に、次の皆様からご寄付をいただきました。

生活協同組合コープ自然派しこく様 徳島経済同友会様 関口明代様 今出弘様 宮尾博一様

🌸 SNS 配信しています



🌸 ご支援、ご入会をお願いします

たくさんの個人や企業、団体の皆様の支えがあって、活動を展開することができます。賛助会員、協力会員としてご参加いただき、ご支援をお願いいたします。



入会方法など
とくしまコウノトリ基金HP



特定非営利活動法人

とくしまコウノトリ基金

Non-Profit Organization Tokushima Stork Fund

〒771-0203 徳島県板野郡北島町中村字岸ノ上 1-288

TEL.090-2825-6721 E-mail info@t-stork.jp

<https://www.t-stork.jp>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS